

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記のとおりで組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

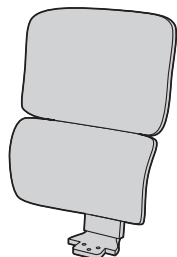
★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします）

完成図

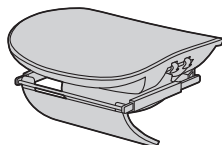


組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCM3など)
と下記の部品番号(①～⑫)と部品名(キャスターなど)を
お知らせください。



① 背もたれ×1個



② 座面×1個



③ ヘッドレスト×1個



④ 肘あて(右)×1個



⑤ 肘あて(左)×1個



⑥ レッグフレーム×1個



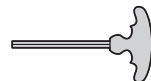
⑦ ガスシリンダー
×1本



⑧ キャスター
×5個

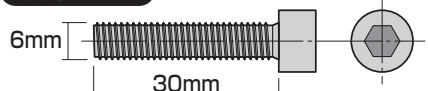


⑨ スプリングワッシャー
×4枚

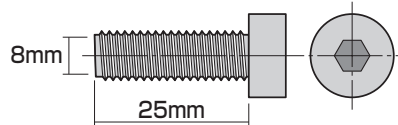


⑩ 六角レンチ
(5mm)×1本

使用ボルト



⑪ ボルトA×4本 (M6×30)



⑫ ボルトB×3本 (M8×25)

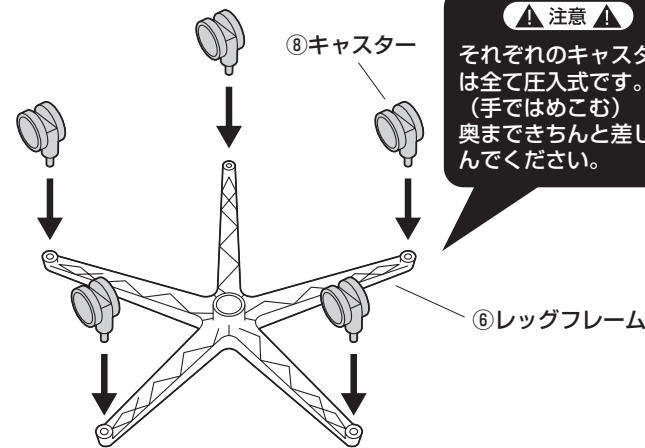
チェアの品質表示

構造部材：座部/PP、ナイロン、スチール、アルミ
背もたれ部/PP、ナイロン
脚部/アルミ
キャスター/ナイロン
張り材：ポリエステルメッシュ

▲ 使用上の注意 ▲

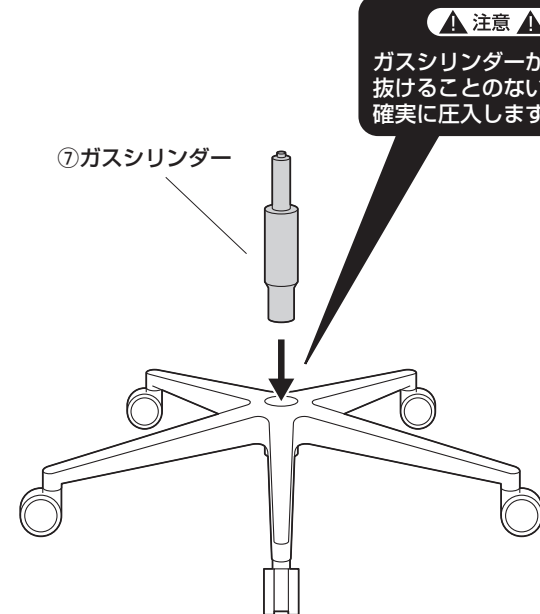
- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

1 レッグフレームにキャスターを取付けます。



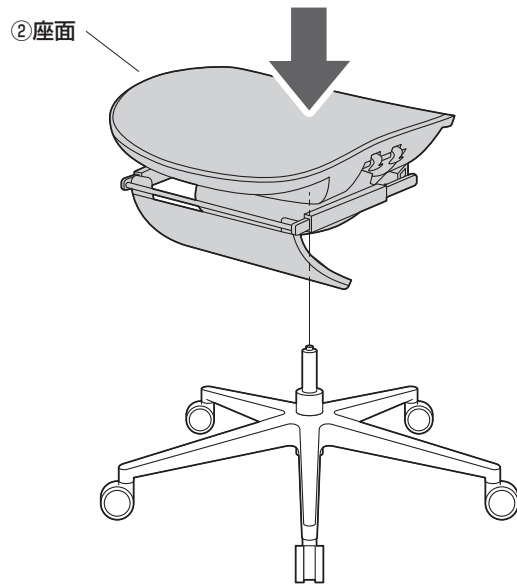
▲ 注意 ▲
それぞれのキャスターは全て圧入式です。(手ではめこむ)奥まできちんと差し込んでください。

2 レッグフレームをひっくり返し、ガスシリンダーを取付けます。



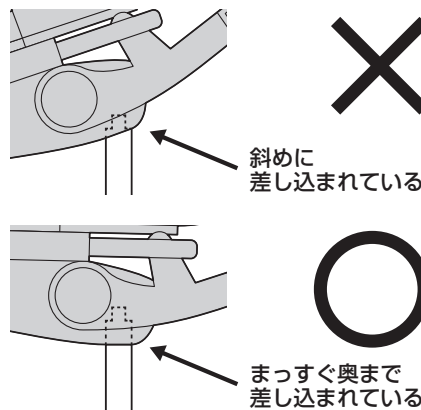
▲ 注意 ▲
ガスシリンダーが後で抜けることのないように確実に圧入します。

3 座面を差し込みます。

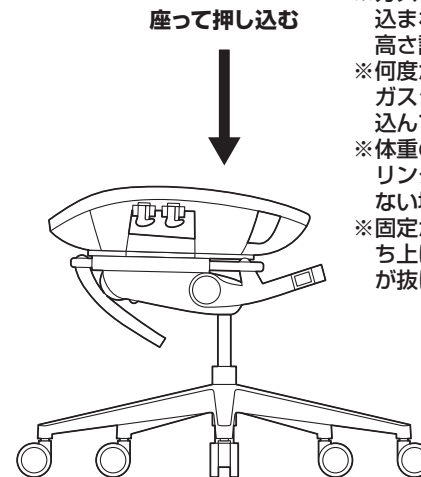


▲ 注意 ▲

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜めに差し込まれていると奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



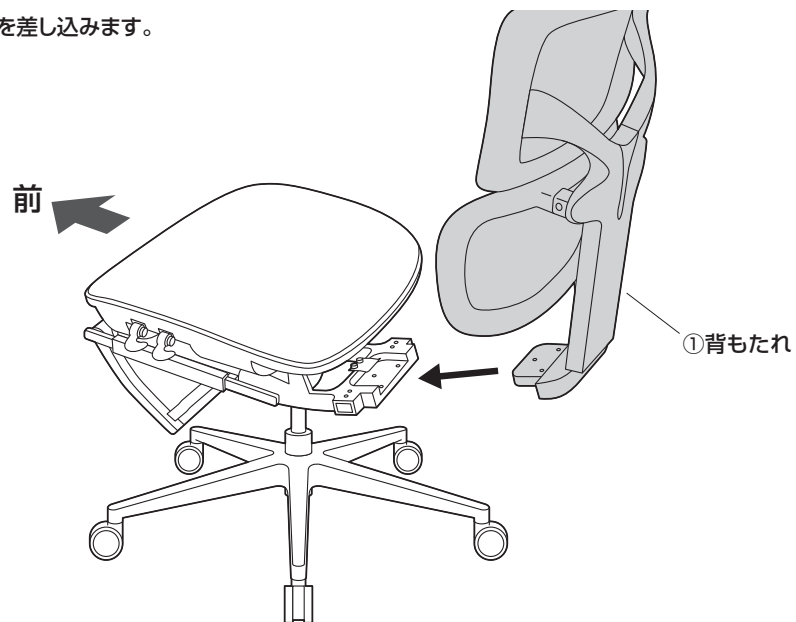
※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。



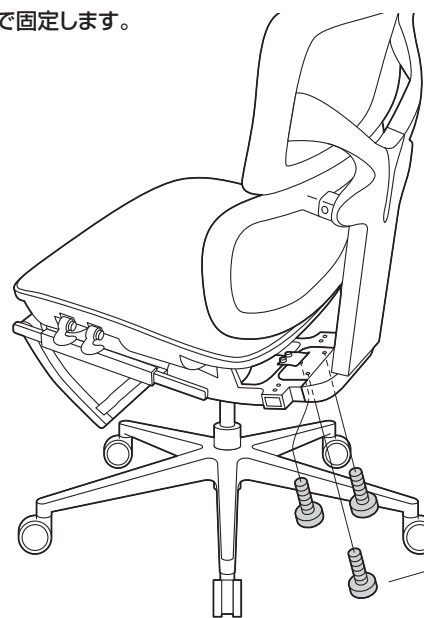
- ※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
- ※何度か座面に体重をかけて、ガスシリンダーを確実に差し込んでください。
- ※体重の軽い方では、ガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
- ※固定が不十分だと、本体を持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

4 背もたれを取付けます。

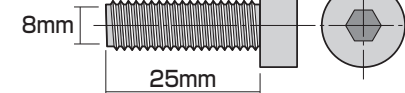
①座面に背もたれを差し込みます。



②ボルトCで固定します。



使用ボルト



②ボルトB (M8×25)

5 肘あてを取付けます。

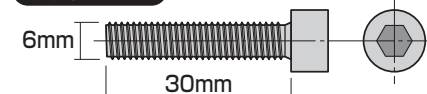
①座面に肘あて(左)を差し込みます。



②ボルトAで固定します。



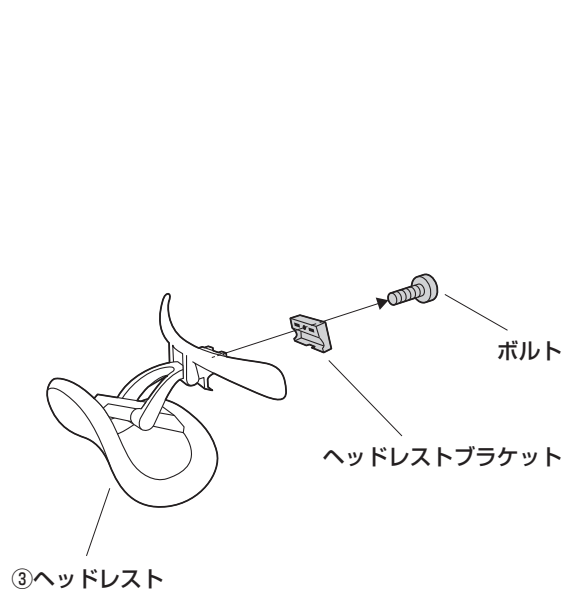
使用ボルト



⑩ボルトA (M6×30)

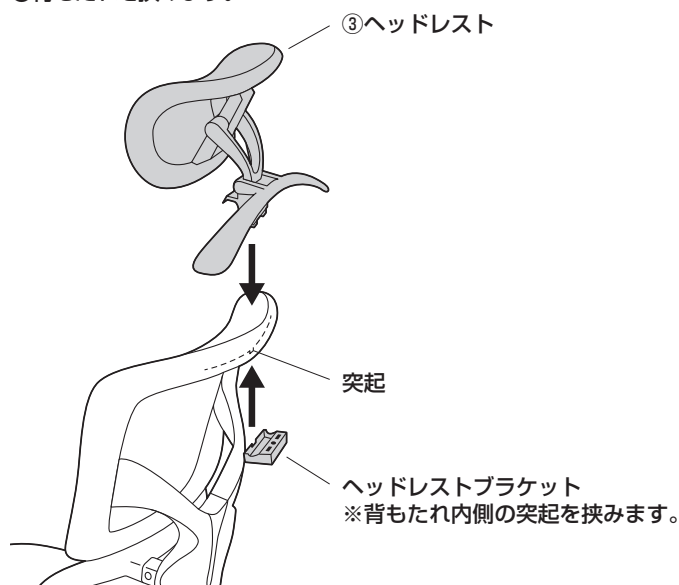
※同様に肘あて(右)も取付けます。

6 ヘッドレストからヘッドレストブラケットを外します。

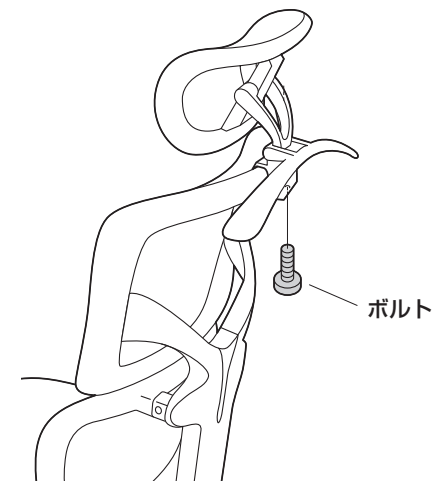


7 背もたれにヘッドレストを取付けて完成です。

①背もたれを挟みます。



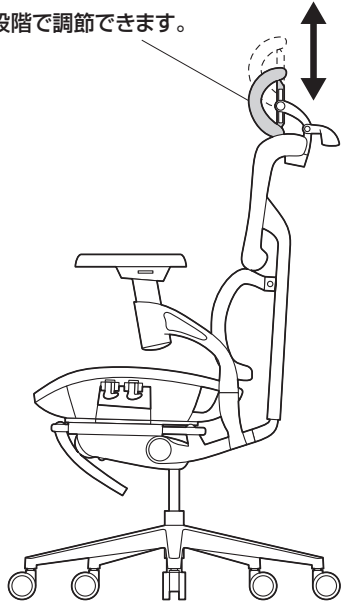
②手順⑥で外したボルトで固定します。



ヘッドレストの調節方法

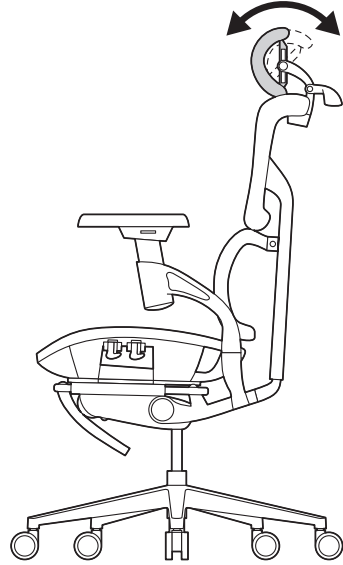
<高さの調節>

10段階で調節できます。



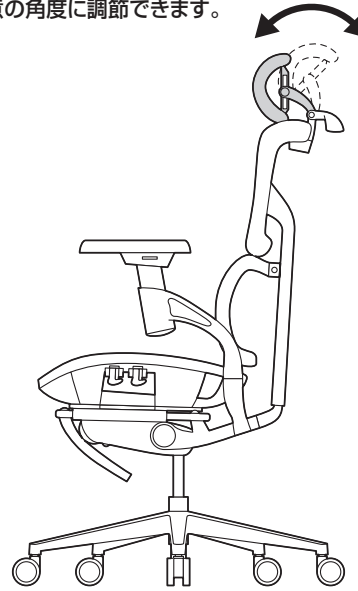
<角度の調節①>

任意の角度に調節できます。



<角度の調節②>

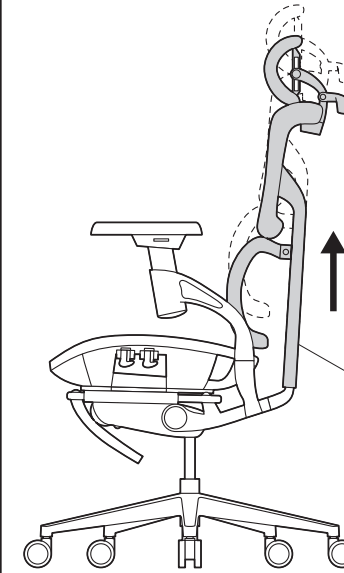
任意の角度に調節できます。



背もたれの調節方法



注意
可動部で指などは
はさまないように
十分ご注意ください。

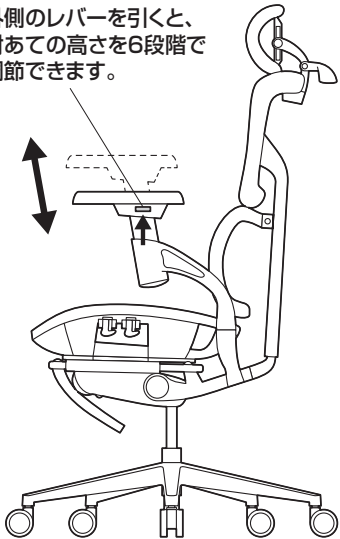


背もたれを少しずつ持ち上げると
高さを6段階で調節できます。
※最後まで持ち上げると、カチッと
音がして、1番下まで下がります。

アームの調節方法

<高さの調節>

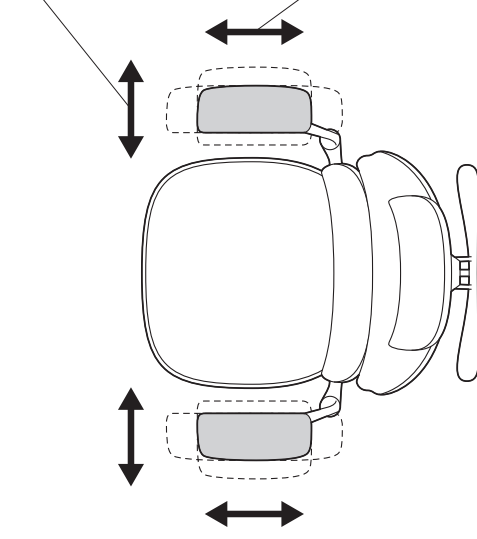
外側のレバーを引くと、
肘あての高さを6段階で
調節できます。



<位置の調節>

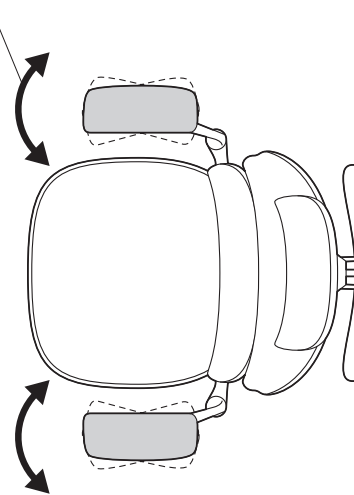
左右は7段階で
調節できます。

前後は13段階で
調節できます。



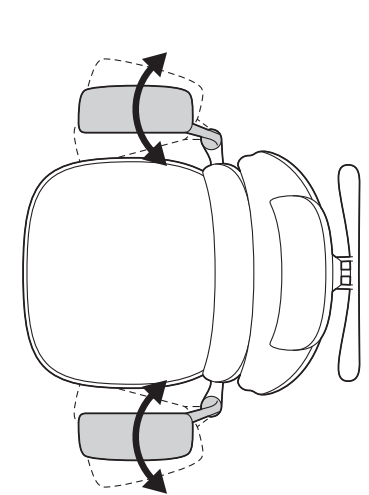
<角度の調節①>

3段階で調節できます。



<角度の調節②>

任意の角度に調節できます。

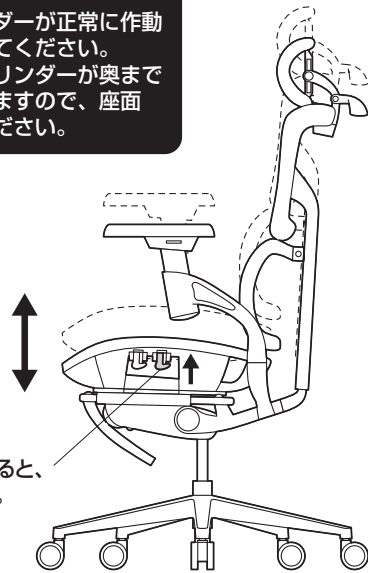


座面の調節方法

<高さの調節>

▲ 注意 ▲

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

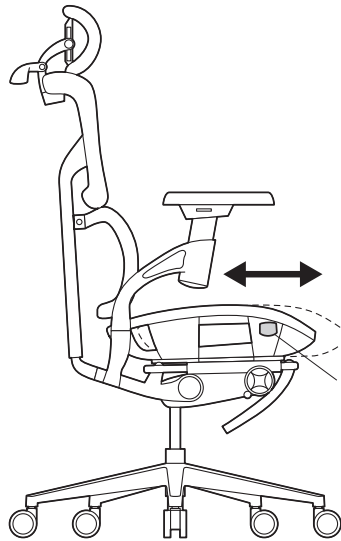


後側のレバーを上げると、高さを調節できます。

<前後の調節>

▲ 注意 ▲

可動部で指などはさまないように十分ご注意ください。



右側のボタンを押すと、3段階で前後にスライドできます。

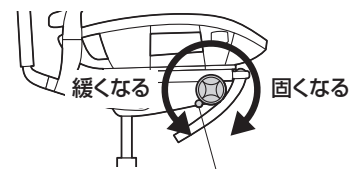
ロックングの使用法

▲ 注意 ▲

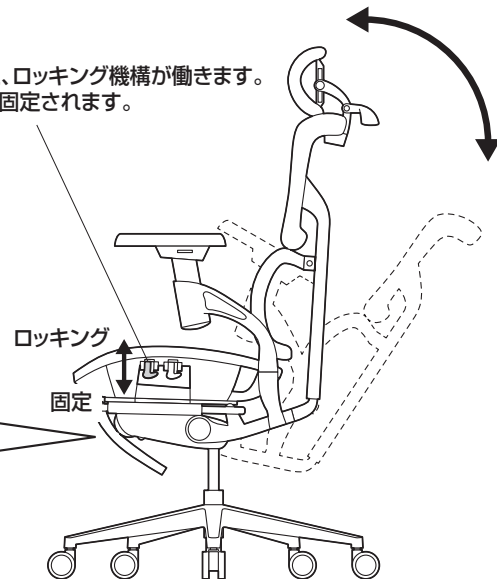
可動部で指などはさまないように十分ご注意ください。

前側のレバーを上げると、ロックング機構が働きます。下げると角度が3段階で固定されます。

<右から見た図>



右側のハンドルを時計回りに回すとロックングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。

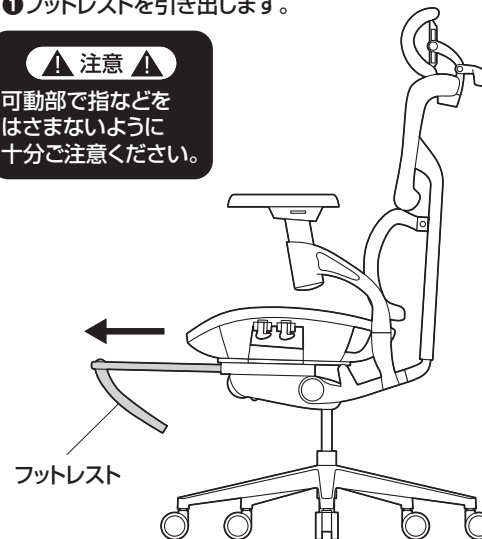


フットレストの使用法

①フットレストを引き出します。

▲ 注意 ▲

可動部で指などはさまないように十分ご注意ください。



②フットレストを180°回転します。
※収納する場合は、逆の手順で収納します。

